

第 2 分科会

研 修

第2分科会 研修に関する事情聴取の集約結果

主題 特別支援教育の専門性向上の在り方

1 特別支援教育を推進する教員(コーディネーター等)を対象とした研修の工夫と課題

(表中の値は機関数、工夫は5つまで重複回答)

【工夫した点】

内 容	工夫した点											計
	① 演習と協議を実施	② 施 授 業 参 観 や 実 践 発 表 実 施	③ 夫 事 例 検 討 会 の 実 施 ・ 工	④ コ ー ス や テ ー マ の 分 化	⑤ 修 該 当 職 務 の 新 任 者 の 研 修 実 施	⑥ プ レ ベ ル ア ッ プ 研 修 の 実 施	⑦ 施 地 域 ・ 地 区 別 の 研 修 実 施	⑧ 校 種 別 の 研 修 実 施	⑨ 異 校 種 間 の 実 践 交 流	⑩ 点 現 状 の 把 握 と 課 題 の 焦 化	⑪ そ の 他	
特別支援教育コーディネーターの養成	45	14	17	8	26	14	13	13	11	13	6	180
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	40	6	28	6	6	11	3	2	2	11	4	119
特別支援学級担当者の指導力向上	46	38	11	15	36	13	10	11	6	18	5	209

※その他(内容)

- ・特別支援学級設置校校長の専門性向上
- ・高等学校における推進リーダーの養成

※その他(工夫した点)

- ・土曜日研修の実施
- ・新規担当予定者に対する研修の実施
- ・校内OJTによる実践的研修の企画
- ・障害種別における研修
- ・大学教授の講義と実践発表の組み合わせ
- ・継続講師による内容の積み上げ
- ・外部講師の活用
- ・メンターの活用
- ・外部講師(大学教授等)招聘
- ・疑似体験
- ・チーフコーディネーターの指名
- ・実践交流・協議
- ・最新の情報提供
- ・先進校から学ぶ
- ・指導教諭の活用
- ・出前研修の実施
- ・対象校種をよく知る講師の選定

【課題】

内 容	課 題										計
	① 演 習 内 容 に 応 じ た 講 義 ・	② 受 講 対 象 者 の 力 量 差	③ た 研 修 者 の ニ ー ズ に 合 っ	④ ア レ ベ ル ア ッ プ の 実 施	⑤ 修 幼 稚 園 ・ 高 校 対 象 の 研 修 実 施	⑥ 的 受 講 者 増 加 に 伴 う 効 率 運 営	⑦ 委 研 修 内 容 に つ い て 地 教 等 と の 調 整 ・ 連 携	⑧ 価 で の 還 元 果 の 地 域 ・ 各 校	⑨ 指 導 者 ・ 講 師 の 確 保	⑩ そ の 他	
特別支援教育コーディネーターの養成	21	31	9	17	7	6	7	22	20	5	145
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	23	24	11	14	3	2	2	19	12	6	116
特別支援学級担当者の指導力向上	28	27	10	21	2	23	14	20	15	4	164

※その他(課題)

- ・心理検査の資格を保有する職員が不在
- ・地域ごとの新特担のフォロー
- ・指名の継続性
- ・著作権の保護
- ・指導技術の継承
- ・動画などの具体例の不足
- ・研修内容の精選
- ・研修日程の調整
- ・検査結果を生かした具体的な支援に関する研修の実施

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

(表中の値は機関数、内容は3つまで、工夫は5つまで複数回答)

【工夫した点】

内 容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	計
	演習と協議を実施	授業参観や実践発表実施	事例検討会の実施・工夫	コースやテーマの分化	該当職務の新任者の研修実施	レベルアップ、ステップアップ研修の実施	地域・地区別の研修実施	校種別の研修実施	異校種間の実践交流	現状の把握と課題の焦点化	その他	
通常の学級における発達障害の理解と支援	34	10	14	7	2	6	2	5	4	15	4	103
新任特別支援学級等担当者研修	24	16	3	6	10	0	8	6	4	10	1	88
通級指導教室専門研修	22	12	17	5	14	6	2	1	4	6	2	91
特別支援学校対象の専門的研修	8	7	3	3	2	2	0	1	1	5	0	32
特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座	13	7	2	6	0	3	0	4	4	7	1	47
特別支援教育全般の専門研修	12	3	4	8	1	1	1	3	1	8	0	42
特別支援教育の今日的課題	1	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0	5
心理検査の実施と解釈	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	4
通常学級における特別支援教育の観点からの授業づくり	13	7	2	2	0	3	1	2	1	9	3	43
幼稚園や高等学校に特化した研修講座	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6
その他	4	2	1	0	1	1	0	1	0	0	1	11

※その他(内容)

- ポッチャ体験研修
- ICT活用
- 自立活動に関する研修講座
- 特別支援教育支援員の研修

【課題】

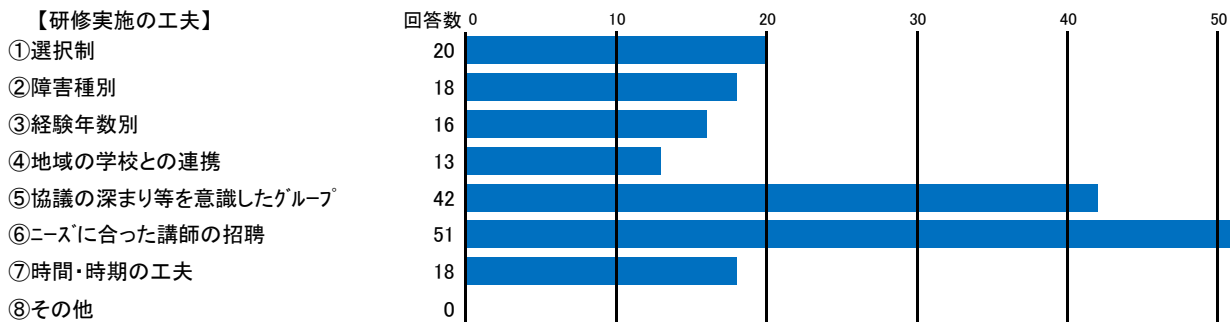
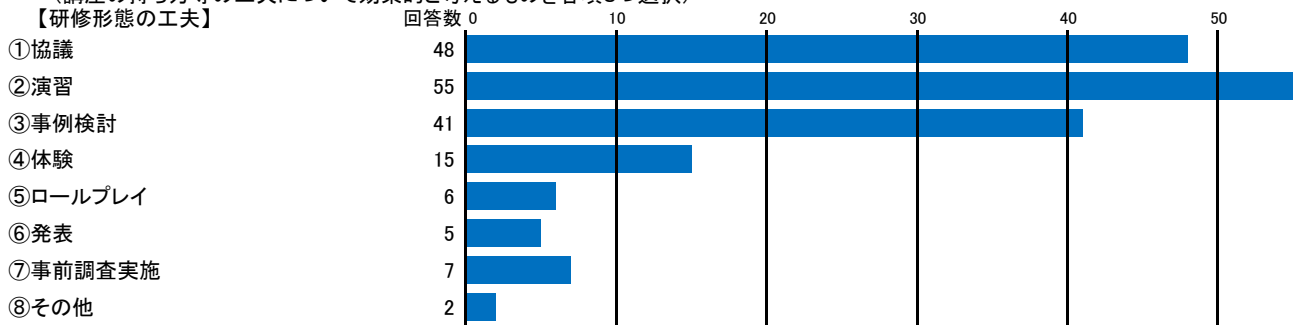
内 容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	計
	ニーズに応じた講義・演習内容の設定	受講対象者の力量差	研修者のニーズに合った研修体系	レベルアップの実施	幼稚園、高校対象の研修実施	受講者増加に伴う効果的運営	研修内容の調整・連携	研修内容について地域、各校への還元についての評価	指導者・講師の確保	その他	
通常の学級における発達障害の理解と支援	18	19	8	6	7	11	5	12	19	2	107
新任特別支援学級等担当者研修	11	14	8	4	0	14	3	6	10	1	71
通級指導教室専門研修	13	15	9	9	5	0	2	9	12	1	75
特別支援学校対象の専門的研修	8	1	4	1	0	0	0	3	6	2	25
特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座	12	9	4	6	0	2	0	3	7	1	44
特別支援教育全般の専門研修	8	4	3	4	0	0	0	4	6	0	29
特別支援教育の今日的課題	1	0	2	0	1	0	1	2	0	0	7
心理検査の実施と解釈	1	1	0	1	0	0	1	0	0	0	4
通常学級における特別支援教育の観点からの授業づくり	11	4	3	4	3	1	1	6	7	2	42
幼稚園や高等学校に特化した研修講座	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※その他(課題)

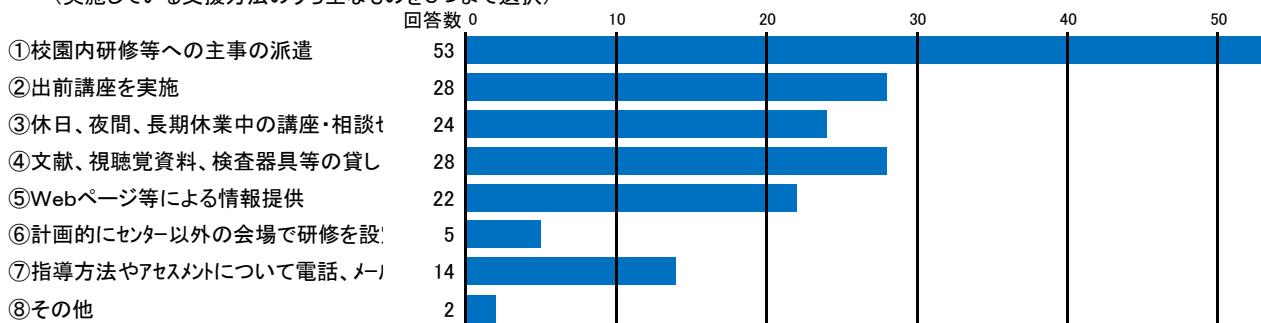
- ・学校の組織づくり
- ・課題の焦点化
- ・対象の絞り込み
- ・指名の継続性
- ・申込数の少なさ

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

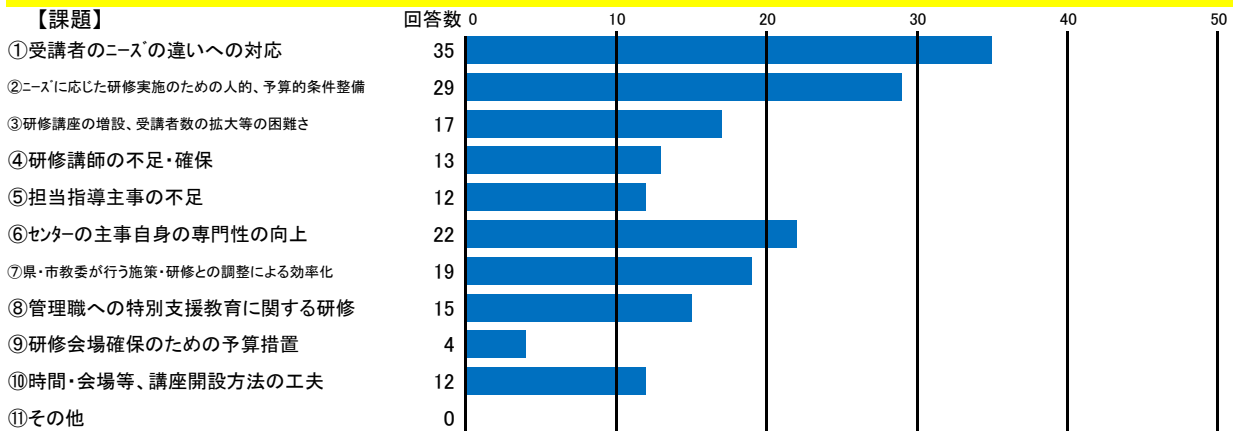
(1) 研修の効果的な在り方
(講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各3つ選択)



(2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援
(実施している支援方法のうち主なものを3つまで選択)



4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策



【今後考えられる方策】

①研修内容及び講師選定の工夫(38)

- ・指導主事候補の教員を講師として招聘し、講座運営に参画させるなどの人材育成の取組
- ・高等学校の教員を対象とした特別支援教育に関する研修の実施
- ・高等学校における「通級による指導」制度運用に伴う高等学校特別支援教育コーディネーター研修等の充実
- ・研修事業の重点化を図り、自立活動の指導と通級による指導の充実を目指す。
- ・新学習指導要領への移行に伴う教育課程の充実につながる研修内容・講師の検討
- ・特別支援教育の動向や研修者のニーズを踏まえた研修講座の検討と改善
- ・新学習指導要領の内容に対応した研修内容の充実
- ・通級指導教室担当教員の指導力向上や通級指導教室と通常の学級との連携の充実につながる研修となるように従来の研修講座を見直し、ニーズに応える。
- ・研修受講者のアンケートをもとにニーズを把握し、次年度に反映させる。
- ・専門的な知識が得られる講師の選定。具体的な事例をもとにした研修の実施。
- ・受講後のアンケートの結果等から受講対象者のニーズを把握し、次年度以降の講座を構築する。
- ・国立特別支援教育総合研究所等、専門家への講師依頼
- ・県が主催する研修の中で、担当部署が違う研修について、内容やニーズを踏まえて実施方法や機会を精選、充実させる。
- ・教職経験年数と特別支援教育の経験年数をアンケートから調査し、次年度の講座構築に活かす。
- ・研修内容の重複の解消と系統的な研修の実施
- ・受講者のニーズを的確に把握する
- ・研修講座を力量別に設定する(例:初心者向き・スキルアップ向き研修等)
- ・西日本の講師活用
- ・講座アンケートや学校支援での聞き取り等の情報収集
- ・実践報告者の育成
- ・研修終了時のアンケート等をもとに、より受講者のニーズを反映した研修を企画、実施する。
- ・アンケート等により、受講者のニーズ把握に努め、研修内容改善に生かす。
- ・全校種に対応した研修テーマの設定
- ・受講者のニーズ及び現在の動向からの研修内容見直し
- ・限られた予算内での研修講座を実施するため、年度毎に障害種別の研修講座に予算的な軽重を付け、遠方から講師招聘を行う。
- ・現在行っている研修内容や日程を見直し、研修者のニーズや喫緊の課題に応じた研修に再構築する
- ・受講者の学校種、経験等を踏まえた内容の構築。研修中の受講者とのやりとりや研修評価シートを通して、受講者の悩みやニーズを把握し、研修内容構築に反映させる。
- ・単発の研修ではなく、長期的な研修プログラムとして研修講座を組み立てる。
- ・大学教授等の専門家の活用
- ・受講者の意見の吸い上げ・ニーズの把握
- ・ニーズに応じた研修の実施
- ・研修の受講や実践経験を経て、一定の力量や知識を身に付けた教員がさらに指導力・専門性を向上させるための研修を充実させていく。
- ・発達障がいについて、実態把握・指導・自立と社会参加に関する専門性の高い有識者(大学教授等)による連続講座を継続していく。
- ・経験年数や力量に対応するため、研修講師との事前打合せの際に受講者の状況を伝える等、ニーズに応じた研修内容になるよう努めたい。
- ・研修担当課と受講者のニーズを踏まえた研修内容及び講師選定が考えられる。
- ・特別支援学級担当者の育成が喫緊の課題、経験年数に応じた研修内容の工夫
- ・より実践的な内容について、経験豊富な退職教員等を活用した研修
- ・派遣研修修了者や各圏域教育事務所からの情報に基づき、研修講師候補となる人材をあげる。

②他機関との連携(21)

- ・医療機関や隣接する北海道立総合相談所と連携した、専門性の高い研修講座の実施
- ・義務教育課、高校教育課、幼保推進課との研修内容の検討と連携した実施
- ・各障害種別の研修会について、特別支援学校を会場に専門性の高い当該学校教員を講師にして開催していく。
- ・学校での支援体制を充実できるようにするための、学校支援体制の構築をサポートする。
- ・市町村教育委員会や研究会との連携の更なる充実
- ・各教育事務所と連携し、研修の広報やオープン参加を可能とするなど、より多くの教職員が受講できるような対応を考える。
- ・教育庁や教育事務所等の特別支援教育担当者間で、研修の在り方について定期的に会議を設ける。
- ・市町村教育委員会指導主事の専門性向上に寄与するため、研修の参加についての柔軟な対応(急な参加希望に対応等)。
- ・管理職への特別支援教育に関して、市町村教育委員会や教育事務所との連携を図る。
- ・発達障害者支援センターや福祉機関等の活用
- ・放課後等デイサービス等民間及び他の行政機関との連携

- ・広島市発達障害者支援センターと共催での研修を実施している。今後も連携を図り、講師派遣の依頼や、研修内容の充実に努めたい。
- ・県教委との役割分担の明確化を図りながら、連携をして特別支援教育への理解を深める取組を進める必要がある。
- ・県や市町の教育委員会と連携した地域の課題やニーズに応じた研修
- ・地域支援センターや大学等と連携した講座の充実
- ・山口県特別支援教育推進室・聴覚障害教育センター・視覚障害教育センターとの連携
- ・長崎大学や本庁との連携・協働
- ・特別支援学校の夏季公開研修等、他機関の研修との内容の調整・協力。
- ・特別支援教育にかかわる市教委の各部署との一層の連携と役割分担を進めること。
- ・県内各教育センターとの連携により、他の教育センターの研修を受講可能にする(一部実施)

③研修形態の工夫(27)

- ・地区単位のニーズに応じた研修の実施
- ・センターで実施している内容を教育事務所管内で開催する研修へ移管する
- ・すぐに役立つことを大事にし、具体的な事例等を使っての検討会等
- ・web配信等を検討し、研修に係る指導者及び受講者の負担を軽減する。
- ・実施会場の調整(区部、市部 等)、動画教材等の効果的な活用
- ・基礎編、専門編等の研修内容のステージ化を図ると共に、特別支援教育の専門性を体系的に養成できるような計画的研修の実施
- ・県の施策として実施する研修と時間や会場を調整しながら、各ニーズに応える研修を企画する。ネットで配信される講座を視聴する研修受講の可能性を考える。
- ・特別支援学級担任が研修に参加しやすくなるよう、半日開催や講義の動画配信、e-learningの導入等を検討する。
- ・研修体系の整備や研修講座の改善
- ・学校現場への研修効果の還元のための研修方法の工夫(センター招集型から出前型へ)
- ・講義内容のビデオ配信、eラーニングの導入
- ・受講者相互の学び合いを促進するため、協議や演習を積極的に取り入れる。
- ・特別支援教育に関する研修者増加に伴う会場設定、演習内容や協議班等の工夫
- ・受講者アンケートの結果を踏まえ、より指導実践につながる研修になるよう内容・形態を見直す。
- ・関係機関や学校とつないだ遠隔通信研修による効率化
- ・遠隔地に向けた配信等の研修形態の工夫
- ・講義・実践発表・演習・協議等を組み合わせ、一貫性のある講座運営
- ・協議の時間の十分な確保
- ・受講者が課題意識をもって主体的に研修でき、研修内容を地域へ還元できるような工夫
- ・集合研修だけでなく、オンライン研修やサテライト型研修、複数の研修のパッケージ化の導入
- ・上記の講座を受講した教員が、各地域の特別支援教育推進のリーダーとして相談支援、事例報告等を行い、本市特別支援教育を一層推進していく。

- ・巡回相談形式でOJT的な指導が受けられる研修
- ・インターネットを活用した研修の実施（一斉配信など）
- ・力量差に配慮したグループ編成を行い、協議の際に学び合える機会を設定する
- ・主体的な参加を促すため、協議演習を取り入れた研修講座の設定を行う。
- ・動画コンテンツなど具体例を充実させる。

④指導主事の研さん(13)

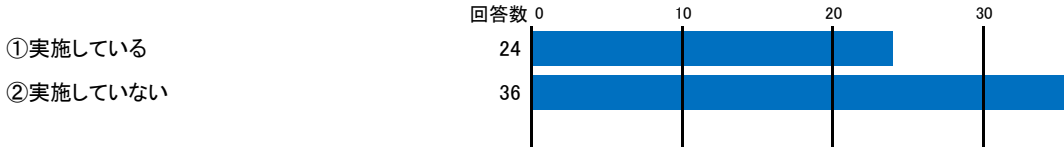
- ・県内外の研修会等への参加による最新情報の収集、人脈づくり
- ・いわて特別支援教育推進プランに合わせた研修推進のための研鑽
- ・センター指導主事の専門性を向上させるための計画的な所内外研修の実施
- ・指導主事の業務の効率化
- ・計画的な自主研修機会の確保
- ・他機関等が実施する研修等に積極的に参加し、自己研さんに努める。
- ・特別支援教育にかかわる研修講座の内容の検討と共有化
- ・外部講師を招聘した、所員研修の実施
- ・所内研修、班内研修を通して指導主事の専門性の向上を図る。
- ・所員研修による指導主事の専門性の向上
- ・今日的な課題に対応できるための、最新の情報を得られるように研修等に積極的に参加できるようにする。
- ・研修会の実施、外部研修への参加
- ・専門性・情報収集力の向上

⑤その他

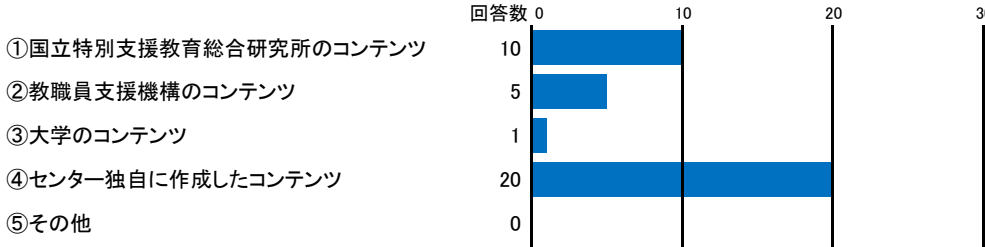
- ・研修履歴システム(経験年数や受講済研修履歴)を活用した、研修の企画・運営

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について



(2)(1)①の場合、具体的な内容(複数回答)

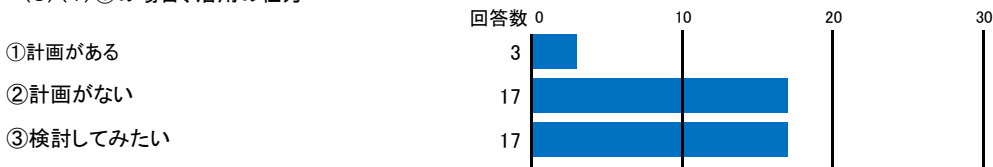


(3)(1)①の場合、活用の仕方

オンデマンドによる基礎的な内容の研修
 事前視聴
 研修会における事前視聴
 Webページへの掲載
 事前課題
 所属校での研修受講
 コーディネーター研修の選択研修のひとつ
 選択研修における事前課題
 学校と連携したリアルタイム配信
 事前のeラーニング
 研修の事前学習及び事後学習で活用
 受講単位に認定

HP
 研修講座内で一部を紹介する
 研修の代替
 各学校における校内研修会にて利用していただく
 職務研修の事前課題
 自主研修教材として各自で活用
 サポート・シリーズ校内研修
 任意
 事前聴講により基礎的知識習得
 研修動画をイントラネットで共有
 相談員の研修の際の視聴
 報告書を提出することで研修1講座受講扱いとする

(3)(1)①の場合、活用の仕方



第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
2	北海道立特別支援教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）
※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点				課 題			
特別支援教育コーディネーターの養成	①	③	⑨		①	④	⑤	⑧
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	③			④	⑧		
特別支援学級担当者の指導力向上	①	⑦	⑨		①	③	⑥	⑧
その他（ ）								

- 工夫した点
 - ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
 - ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
 - ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
 - ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）
- 課題
 - ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
 - ④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
 - ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内 容	工夫した点				課 題			
①	①	⑨			④	⑤	⑧	⑨
②	①	⑦			②	⑥	⑧	⑨
⑩	①	②			⑧	⑨		

- 内容
 - ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
 - ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
 - ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各項目3つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	⑤	⑥	⑦
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりやネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫 ⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	②	⑥
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課 題	②	③	⑥
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
①	・指導主事候補の教員を講師として招聘し、講座運営に参画させるなどの人材育成の取組
②	・医療機関や隣接する北海道立総合相談所と連携した、専門性の高い研修講座の実施
④	・外部講師を招聘した、所員研修の実施

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん ⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	①
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容	④			
--------	---	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（オンデマンドによる基礎的な内容の研修）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	③
-------	---

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
3	青森県総合学校教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内容	工夫した点					課題				
特別支援教育コーディネーターの養成	①	②	⑤			①	②	⑧	⑨	
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	②	③			①	②	⑨	⑩	
特別支援学級担当者の指導力向上	①	④	⑤			①	③	⑦	⑧	
その他（ ）										

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（心理検査の資格を保有する職員が不在） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内容	工夫した点					課題				
①	①	②	③			①	②	⑨		
②	①	④	⑤			①	③	⑦	⑧	
⑤	①	②	③			①	②	⑨		

・内容

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各項目3つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	⑤	⑥	⑦
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	③	④
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課題	①	⑥	⑦
----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
①	高等学校の教員を対象とした特別支援教育に関する研修の実施

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	②
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容				
--------	--	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（ ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	②
-------	---

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
4	岩手県立総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題			
	①	④	⑤	⑥	⑦	⑨			
特別支援教育コーディネーターの養成	①	④	⑤	⑥	⑦	⑨			
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	③	④			②			
特別支援学級担当者の指導力向上	①	④	⑤	⑩		⑥			
その他（特別支援学級設置校校長の専門性向上）	①	⑨	⑩			⑥			

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（どうぶ研修の実施）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内 容	工夫した点					課 題			
①	①					⑨			
③	①	②				⑤			
⑥	①					②			

・内容

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各3つ選択）

研修形態の工夫	①	②	④
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	①	⑤	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	③	④
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等に対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課 題	①	②	⑦
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
①	・高等学校における「通級による指導」制度運用に伴う高等学校特別支援教育コー ディネーター研修等の充実
④	・いわて特別支援教育推進プランに合わせた研修推進のための研鑽

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	②
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容				
--------	--	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（ ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	③
-------	---

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機 関 名
5	宮城県総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成	①	③	⑤	⑧		②	④	⑤	⑦	⑧
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	③	④			①	③	⑧		
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	⑤	⑦	⑧	①	④	⑥	⑦	⑧
その他（ ）										

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
③	①	②	④	⑤	⑥	①	②	④	⑧	⑨
⑤	①	②	⑧	⑨		①	③	④	⑧	⑨
⑥	①	②	⑧	⑩		①	④	⑧	⑨	

・内容

- ①通常学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各3つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	①	②	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	③	④
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課 題	④	⑥	②
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
①	研修事業の重点化を図り、自立活動の指導と通級による指導の充実を目指す。
③	受講者相互の学び合いを促進するため、協議や演習を積極的に取り入れる。
④	所内研修、班内研修を通して指導主事の専門性の向上を図る。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	②
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容				
--------	--	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（ ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	③
-------	---

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
6	秋田県総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
	①	③	⑤	⑥		①	③	⑤	⑥	
特別支援教育コーディネーターの養成										
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	③				①	②	④	⑧	
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	⑤	⑦	⑩	①	②	⑨		
その他（ ）										

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
	①	③	⑤	⑧		②	③	④	⑦	⑨
①	①	③	⑤	⑧		②	③	④	⑦	⑨
②	①	②	⑦	⑩		①	②	③	⑧	
③	①	④	⑩			①	③	④		

・内容

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各項目3つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	⑤	⑥	⑦
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	②	③
------	---	---	---

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等に対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課 題	①	②	③
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
①	新学習指導要領への移行に伴う教育課程の充実につながる研修内容・講師の検討
②	義務教育課、高校教育課、幼保推進課との研修内容の検討と連携した実施

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	②
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容				
--------	--	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（ ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	③
-------	---

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
7	山形県教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題		
特別支援教育コーディネーターの養成								
教育相談や心理検査にかかる専門性向上								
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	③	④	⑩	②	⑥	
その他（ ）								

- 工夫した点
 - ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
 - ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
 - ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
 - ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）
- 課題
 - ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
 - ④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
 - ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内 容	工夫した点					課 題		
①	①	⑩				⑤	⑨	
②	①	③	⑧	⑩		①	②	⑨
④	①	②				①	⑨	

- 内容
 - ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
 - ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の専門研修
 - ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点からの授業づくり
 - ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
 - ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各3つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	②	⑤	⑥
---------	---	---	---

①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりやネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫 ⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	②	⑤
------	---	---	---

①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課 題	①	②	⑦
-----	---	---	---

①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
③	地区単位のニーズに応じた研修の実施

①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん ⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	②
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容				
--------	--	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（ ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	③
-------	---

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
8	福島県特別支援教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内容	工夫した点					課題				
特別支援教育コーディネーターの養成	①	②	③	⑦	⑧	①	②	⑨		
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	②	③			①	③			
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	⑤	⑥	⑦	①	⑥	⑦		
その他（ ）										

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内容	工夫した点					課題				
①	①	②				①	②	③	④	⑤
②	①	②	③	⑦	⑩	①	②	⑥	⑨	
⑤	①	②	④	⑥	⑧	①	③	④	⑨	

・内容

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各3つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	⑤	⑥	⑦
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	④	⑤
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課題	①	③	⑧
----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
①	特別支援教育の動向や研修者のニーズを踏まえた研修講座の検討と改善
③	特別支援教育に関する研修者増加に伴う会場設定、演習内容や協議班等の工夫
④	所員研修による指導主事の専門性の向上

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	②
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容				
--------	--	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（ ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	②
-------	---

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
9	茨城県教育研修センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内容	工夫した点					課題				
特別支援教育コーディネーターの養成	①					②				
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	③					②				
特別支援学級担当者の指導力向上	①					④				
その他（ ）										

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内容	工夫した点					課題				
②	①					②	⑥			
⑩	③					⑧				

・内容

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各3つ選択）

研修形態の工夫	②	③	①
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	①	⑤	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	②	④
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課題	②	⑦	⑧
----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
③	センターで実施している内容を教育事務所管内で開催する研修へ移管する

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	①
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容	④			
--------	---	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（ 事前視聴 ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	
-------	--

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
10	栃木県総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点				課 題				
	①	⑦	⑧	⑩	①	②	⑧	⑨	
特別支援教育コーディネーターの養成	①	⑦	⑧	⑩	①	②	⑧	⑨	
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	③	⑩		②	⑧	⑨		
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	⑤	⑩	②	⑥	⑨		
その他（ ）									

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内 容	工夫した点				課 題				
	①	②	⑤		②	⑨			
①	①	②			②	⑨			
②	①	②	⑤		⑥	⑨			
④	①	②	③		①	③	⑨		

・内容

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各項目3つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	③	⑤	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	③	④
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等に対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課 題	①	⑦	⑧
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
②	・県教委との役割分担の明確化を図りながら、連携をして特別支援教育への理解を深める取組を進める必要がある。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	②
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容				
--------	--	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（ ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	②
-------	---

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
11	群馬県総合教育センター (特別教育センター)

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
(工夫、課題について選択 複数可(5つまで) 未実施の内容については無記入)

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内容	工夫した点					課題				
特別支援教育コーディネーターの養成	⑤					①	④	⑦		
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	⑤	⑥			①	④	⑦		
特別支援学級担当者の指導力向上	④	⑤	⑥			①	④	⑨		
その他 ()										

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1 ()
⑫その他2 () ⑬その他3 ()

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1 () ⑪その他2 () ⑫その他3 ()

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

(内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択(複数可 5つまで))

内容	工夫した点					課題				
①	①	④	⑥			⑤	⑥	⑦	⑨	
②	①	②	④	⑦		③	⑥			
③	①	②	⑤			①	④			

・内容

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1 ()
⑫その他2 () ⑬その他3 ()

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方(講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各3つ選択)

研修形態の工夫	①	②	④
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他 ()

研修実施の工夫	②	③	⑤
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携(会場使用、参観等) ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他 ()

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援(実施している支援方法のうち主なものを3つ選択)

支援方法	①	④	⑤
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等に対応 ⑧その他 ()

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題(考えられる主なものを3つ選択)

課題	①	②	⑦
----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他 ()

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入(最大3つ)

研究の内容	具体的な内容
③	すぐに役立つことを大事にし、具体的な事例等を使つての検討会等

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他 ()

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	②
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容				
--------	--	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（ ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	②
-------	---

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
12	埼玉県立総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成	①	⑦	⑧	⑨		①	③	④	⑤	⑨
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	③	⑧			②	③	④		
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	⑤	⑥		①	③	⑥		
その他（ ）										

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
②	①	②	⑦	⑨		①	③	⑥	⑨	
④	①	④	⑤	⑥	⑩	①	③	④	⑨	
⑤	①	⑩				①	③	⑨		

・内容

- ①通常学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各3つ選択）

研修形態の工夫	①	③	④
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	①	⑤	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	⑤	⑦
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課 題	②	④	⑩
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
③	web配信等を検討し、研修に係る指導者及び受講者の負担を軽減する。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	①
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容	④			
--------	---	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（ 研修会における事前視聴 ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	
-------	--

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
13	千葉県総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内容	工夫した点					課題				
特別支援教育コーディネーターの養成										
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	②	③			②				
特別支援学級担当者の指導力向上	①	⑩				①	②	⑧		
その他（ ）										

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内容	工夫した点					課題				
⑨	①	②	③			①	⑥			
⑩	①	②				①				
⑪	①					①				

・内容

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の専門研修
⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点からの授業づくり
⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ボッチャ体験研修 ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各項目3つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	①	⑤	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりやネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	③	④
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課題	③	⑥
----	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
⑤	研修履歴システム（経験年数や受講済研修履歴）を活用した、研修の企画・運営

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	①
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容	④			
--------	---	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（ Webページへの掲載 ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	
-------	--

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
14	東京都教職員研修センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題			
	①	④	⑤	⑥	⑧	②	③	④	⑥
特別支援教育コーディネーターの養成									
教育相談や心理検査にかかる専門性向上									
特別支援学級担当者の指導力向上									
その他（ ）									

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内 容	工夫した点					課 題			
	①	②	④	⑤	⑥	③	④	⑥	⑧
①									

・内容

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各3つ選択）

研修形態の工夫	①	②	⑧
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（サテライト会場）

研修実施の工夫	①	②	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	②	④
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等に対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課 題	①	⑧	⑩
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
③	実施会場の調整（区部、市部 等）、動画教材等の効果的な活用

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	①
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容	①	②	④	
--------	---	---	---	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（ 事前課題 ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	
-------	--

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
15	神奈川県立総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成	①	②	③	⑧		②	⑥	⑧	⑨	
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	②	③	⑤	⑩	①	②	④	⑥	
特別支援学級担当者の指導力向上	①	⑦				①	②	⑥		
その他（ ）										

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
②	④					①				
③	①	②	③	⑤	⑥	②	③	⑧	⑨	
④	①	③				①				

・内容

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各項目3つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	②	⑤	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	③	⑦
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課 題	①	③	④
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
①	新学習指導要領の内容に対応した研修内容の充実

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	②
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容				
--------	--	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（ ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	②
-------	---

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
16	新潟県立教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成	①	②	③	⑥	⑩	②	⑦	⑧	⑨	
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	③	⑤	⑥	⑦	①	③	⑤	⑧	⑨
特別支援学級担当者の指導力向上	②	②	⑦	⑨		②	④	⑥	⑧	
その他（ ）										

- 工夫した点
①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（実践力向上研修実施）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）
- 課題
①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
①	③	⑩	⑪			①	⑧			
②	②	⑤	⑩			②	③	④	⑥	⑦
⑨	③	⑩	⑪			①	⑧			

- 内容
①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の専門研修
⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点からの授業づくり
⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各3つ選択）

研修形態の工夫	①	②	⑦
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	①	④	⑤
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりやネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	②	⑦
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課 題	②	⑤	⑧
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
①	通常の学級における特別支援教育や発達障害のある児童生徒への支援方法等、受講者の研修ニーズに応じた内容設定、講師選定を行う。
③	受講者の実態が様々なため、希望研修においてはコース選択制を導入し、特別支援教育の経験値や職務に応じて必要となる内容が提供できるよう形態を工夫する。
④	特別支援教育に関する専門性、教育相談の力量等を向上するため、自主研修だけでなく指導主事同士での実践での学び合いの機会を設定する。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	②
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容				
--------	--	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（ ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	②
-------	---

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
17	富山県総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点				課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成	①	⑦	⑧	⑩	②	④	⑤	⑧	⑨
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	③	⑥		②	③	⑧		
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	⑤	⑩	②	⑥	⑧	⑨	
その他（ ）									

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内 容	工夫した点				課 題					
①	①	⑩			①	⑤	⑨			
②	①	②	⑦	⑧	⑩	①	②	⑥	⑧	⑨
③	①	②	⑩			①	③	⑨		

・内容

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各項目3つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	⑤	⑥	⑦
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	④	⑤
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等に対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課 題	②	④
-----	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（高等学校での特別支援教育の推進）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
①	・通級指導教室担当教員の指導力向上や通級指導教室と通常の学級との連携の充実に つながる研修となるように従来の研修講座を見直し、ニーズに応える。
③	・受講者アンケートの結果を踏まえ、より指導実践につながる研修になるよう内容・ 形態を見直す。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	②
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容				
--------	--	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（ ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	③
-------	---

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
18	石川県教員総合研修センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
(工夫、課題について選択 複数可 (5つまで) 未実施の内容については無記入)

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点				課 題			
特別支援教育コーディネーターの養成	①	⑤	⑦	⑧	①	②	④	⑧
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	⑩	⑪	⑫	④	⑨	⑩	
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	③	⑤	⑩	①	④	⑥
その他 ()								

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1 (新規担当予定者に対する研修の実施)
⑫その他2 (校内OJTによる実践的研修の企画) ⑬その他3 ()

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1 () ⑪その他2 () ⑫その他3 ()

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
(内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択 (複数可 5つまで))

内 容	工夫した点				課 題			
①	①	④	⑥	⑧	②	⑦	⑧	
③	①	④	⑤		⑤	⑧		
⑤	①	④	⑥	⑩	①	②	⑧	

・内容

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1 ()
⑫その他2 () ⑬その他3 ()

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

(1) 研修の効果的な在り方 (講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各3つ選択)

研修形態の工夫	②	③	④
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他 ()

研修実施の工夫	①	⑤	⑦
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携 (会場使用、参観等) ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他 ()

(2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援 (実施している支援方法のうち主なものを3つ選択)

支援方法			
------	--	--	--

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他 ()

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

(1) 課題 (考えられる主なものを3つ選択)

課 題	①	⑥	⑧
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他 ()

(2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入 (最大3つ)

研究の内容	具体的な内容
④	県内外の研修会等への参加による最新情報の収集、人脈づくり

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	①
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容	④	②		
--------	---	---	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（ 所属校での研修受講 ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	
-------	--

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
19	福井県特別支援教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成	①	②	⑤	⑥	⑨	④	⑥	⑦		
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	⑦				①	⑧			
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	③	⑧	⑪	①	⑥	⑦	⑩	
その他（ ）										

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（センター的機能の活用）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（地域ごとの新特担のフォロー） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
①	①	②	③	⑦	⑩	①	④	⑥	⑨	
④	①	②	③	⑨	⑩	③	⑨			
⑨	①	②	⑦	⑨	⑩	①	⑤	⑧	⑨	

・内容

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

(1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各3つ選択）

研修形態の工夫	②	③	⑦
---------	---	---	---

①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	④	⑤	⑥
---------	---	---	---

①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

(2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	②	③
------	---	---	---

①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

(1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課 題	①	⑦	⑩
-----	---	---	---

①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

(2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
②	県や市町の教育委員会と連携した地域の課題やニーズに応じた研修
③	関係機関や学校とつないだ遠隔通信研修による効率化

①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	①
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容	①			
--------	---	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（コーディネーター研修の選択研修のひとつ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	
-------	--

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機 関 名
20	山梨県総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成	①	③	⑤	⑩		①	②	④	⑧	⑨
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	③	⑥			①	②	④	⑧	
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	⑤			①	②	④	⑧	
その他（ ）										

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
①	①					①	②	④	⑧	
③	①	②	③			①	②	④	⑧	
⑧	①	③				①	②	④	⑦	

・内容

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各項目3つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	②	⑥	⑦
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	④	⑦
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課 題	①	③	⑥
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
①	研修受講者のアンケートをもとにニーズを把握し、次年度に反映させる。
②	各障害種別の研修会について、特別支援学校を会場に専門性の高い当該学校教員を講師にして開催していく。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	②
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容				
--------	--	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（ ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	②
-------	---

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
21	長野県総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内容	工夫した点					課題				
特別支援教育コーディネーターの養成	①	②	⑥			⑧	⑨			
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	③	⑥			②	⑧	⑨		
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	⑧	⑩		⑧	⑨			
その他（ ）										

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内容	工夫した点					課題				
①	①	②	⑩			①	②	⑧	⑨	
④	①	②	④	⑩		①	②	⑧	⑨	
⑤	①	②	④	⑨	⑩	①	②	⑧	⑨	

・内容

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各3つ選択）

研修形態の工夫	②	⑤	⑥
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	⑤	⑥	⑦
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	②	⑦
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課題	②	④	⑤
----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
①	専門的な知識が得られる講師の選定。具体的な事例をもとにした研修の実施。
②	学校での支援体制を充実できるようにするための、学校支援体制の構築をサポートする。
④	今日的な課題に対応できるように、最新の情報を得られるように研修等に積極的に参加できるようにする。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	②
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容				
--------	--	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（ ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	③
-------	---

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
22	岐阜県総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
	①	⑤	⑨	⑩		①	③	⑨		
特別支援教育コーディネーターの養成										
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	④	⑩			①	②			
特別支援学級担当者の指導力向上	①	④	⑤	⑥		①	⑨			
その他（ ）										

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
	①	③	④			①	②	③	⑥	⑨
①	①	③	④			①	②	③	⑥	⑨
②	①	②	⑦	⑧	⑩	①	③	⑥		
③	①	②	③	⑤	⑥	①	②	③		

・内容

- ①通常学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各項目3つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	②	⑥	③
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	②	⑥
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課 題	①	②	⑥
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
①	受講後のアンケートの結果等から受講対象者のニーズを把握し、次年度以降の講座を構築する。
①	派遣研修修了者や各圏域教育事務所からの情報に基づき、研修講師候補となる人材をあげる。
③	

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	①
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容	①	④		
--------	---	---	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（選択研修における事前課題）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	
-------	--

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機 関 名
23	静岡県総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成	①					①				
教育相談や心理検査にかかる専門性向上										
特別支援学級担当者の指導力向上										
その他（ ）										

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
①	①	②				⑨				
⑤	①	④	⑨			⑨				
⑥	①	④	⑧			⑨	③			

・内容

- ①通常学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各3つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	⑤	④	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	②	⑤
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課 題	②	④	⑦
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
①	国立特別支援教育総合研究所等、専門家への講師依頼
③	遠隔地に向けた配信等の研修形態の工夫

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	①
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容	④			
--------	---	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（学校と連携したリアルタイム配信）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	
-------	--

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
24	愛知県総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成	①	③	⑤	⑥	⑦	①	②	③	⑨	
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	④				①	②	⑩		
特別支援学級担当者の指導力向上	①	⑤				①	③	⑥	⑨	
その他（ ）										

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
①	②	⑨				⑤	⑩			
③	①	⑤	⑥			①	③			
⑩	①					③	⑧	⑨		

・内容

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各項目3つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	①	③	⑦
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	④	⑤	⑦
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課 題	①	②	⑥
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
①	県が主催する研修の中で、担当部署が違う研修について、内容やニーズを踏まえて実施方法や機会を精選、充実させる。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	①
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容	④			
--------	---	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（ 事前のe-ラーニング ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	①
-------	---

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
25	三重県教育委員会事務局

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内容	工夫した点					課題			
特別支援教育コーディネーターの養成									
教育相談や心理検査にかかる専門性向上									
特別支援学級担当者の指導力向上	①	④	⑤	⑥	⑩	②			
その他（ ）									

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内容	工夫した点					課題			
①	①	③	⑤	⑩		②			
②	①	④	⑤	⑩		②			
⑥	①	③	⑤			②			

・内容

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各項目3つ選択）

研修形態の工夫	①	②	⑧
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（e-ラーニング）

研修実施の工夫	①	③	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	⑥	⑧
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（e-ラーニング）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課題	①	②	⑨
----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
①	教職経験年数と特別支援教育の経験年数をアンケートから調査し、次年度の講座構築に活かす。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	①
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容	④			
--------	---	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（研修の事前学習及び事後学習で活用 ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	
-------	--

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
26	滋賀県総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題			
特別支援教育コーディネーターの養成									
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①					①	②	⑧	
特別支援学級担当者の指導力向上	①	⑤	⑧	⑨	⑪	②	⑥	⑦	
その他（ 高等学校における推進リーダーの養成 ）	①	③	⑩	⑫	⑬	②	⑧		

- 工夫した点
①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（障害種別における研修）
⑫その他2（最新の情報提供） ⑬その他3（先進校から学ぶ）
- 課題
①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内 容	工夫した点					課 題			
②	①	⑧	⑨	④		②	③	⑥	⑦
③	①	③	④	⑩		②	⑦	⑨	
⑥	①	④	⑥	⑩		①	③	⑨	

- 内容
①通常学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の専門研修
⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点からの授業づくり
⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援
(1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各3つ選択）

研修形態の工夫	①	②	⑥
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	①	⑤	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりやネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫 ⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	②	④
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等に対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課 題	①	②	③
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
③	基礎編、専門編等の研修内容のステージ化を図ると共に、特別支援教育の専門性を体系的に養成できるような計画的研修の実施

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	②
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容				
--------	--	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（ ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	②
-------	---

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
27	京都府総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内容	工夫した点				課題			
特別支援教育コーディネーターの養成	①	②	⑥	⑨	⑤	⑧		
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	③			②	⑧		
特別支援学級担当者の指導力向上	①				⑤			
その他（ ）								

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内容	工夫した点				課題			
③	①	⑤			②	⑧		
⑪	①	②			②	⑧		
②	①	⑤			②	⑧		

・内容

- ①通常学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ICT活用 ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各3つ選択）

研修形態の工夫	①	②	⑤
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	⑤	⑥	⑦
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	②	④	⑧
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等に対応 ⑧その他（ 大学連携出前講座 ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課題	⑤	⑦	⑩
----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
②	地域支援センターや大学等と連携した講座の充実

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	①
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容	①	②	③	
--------	---	---	---	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（ 受講単元に認定 ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	
-------	--

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
28	大阪府教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成	①	③	⑧	⑩		①	②			
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①					①	⑨			
特別支援学級担当者の指導力向上	①	⑤				④	⑥	⑨		
その他（ ）										

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
①	①	③	⑦	⑩		①	⑧			
③	①	③	⑨			②	③	⑧	⑨	
⑥	①	③	④	⑨		①	⑧			

・内容

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各項目3つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	⑤	⑥	
---------	---	---	--

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	②	⑤
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課 題	①	③	⑥
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
①	研修内容の重複の解消と系統的な研修の実施
④	センター指導主事の専門性を向上させるための計画的な所内外研修の実施

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	②
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容				
--------	--	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（ ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	②
-------	---

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
29	兵庫県立特別支援教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題			
	①	⑤	⑦	⑨	⑩	②			
特別支援教育コーディネーターの養成									
教育相談や心理検査にかかる専門性向上									
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	④	⑤	⑩	②	⑥		
その他（ ）									

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内 容	工夫した点					課 題			
	①	③				⑥	⑧		
①	①	③				⑥	⑧		
③	⑦					⑨			
⑨	①					⑧			

・内容

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各項目3つ選択）

研修形態の工夫	①	③	⑥
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	②	③	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	④	⑤
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等に対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課 題	④	⑤	⑦
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
①	受講者のニーズを的確に把握する
④	指導主事の業務の効率化

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	①
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容	①	④		
--------	---	---	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（ HP ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	
-------	--

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
30	奈良県立教育研究所

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成	①	⑦	⑪			②	⑩			
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	③	⑫				⑧				
特別支援学級担当者の指導力向上	②	⑦	⑧			④				
その他（ ）										

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1 （大学教授の講義と実践発表の組み合わせ）
⑫その他2 （継続講師による内容の積み上げ） ⑬その他3 （対象校種をよく知る講師の選定）

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1 （指名の継続性） ⑪その他2 （ ） ⑫その他3 （ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
③	②	⑤				⑧				
⑦	⑦	⑬				③	⑧			
⑩	⑪					①				

・内容

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1 （ ）
⑫その他2 （ ） ⑬その他3 （ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各3つ選択）

研修形態の工夫	①	②	④
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他 （ ）

研修実施の工夫	①	⑥	⑦
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他 （ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	②	④
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等に対応 ⑧その他 （ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課 題	①	④	⑩
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他 （ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
③	県の施策として実施する研修と時間や会場を調整しながら、各ニーズに応える研修を企画する。ネットで配信される講座を視聴する研修受講の可能性を考える。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他 （ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	②
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容				
--------	--	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（ ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	③
-------	---

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
31	和歌山県教育センター学びの丘

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
	⑩	⑪				②	④	⑧		
特別支援教育コーディネーターの養成										
教育相談や心理検査にかかる専門性向上										
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	⑤	⑦		④	⑥			
その他（ ）										

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
	③	⑤	⑨	⑩		②	④			

・内容

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各3つ選択）

研修形態の工夫	①	②	④
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	③	⑤	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	④	⑤
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課 題	①	⑥	⑦
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
①	研修講座を力量別に設定する（例：初心者向き・スキルアップ向き研修等）
②	市町村教育委員会や研究会との連携の更なる充実
③	力量差に配慮したグループ編成を行い、協議の際に学び合える機会を設定する

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	①
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容	①			
--------	---	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（研修講座内で一部を紹介する）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	
-------	--

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機 関 名
32	鳥取県教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題					
特別支援教育コーディネーターの養成											なし
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	⑧				①	⑧				教育相談・不登校担当教員研修(小・中)／教育相談担当教員研修(高)
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	⑤			①	②	⑥	⑧		特別支援学級新任研修
その他()											

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1 ()
⑫その他2 () ⑬その他3 ()

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1 () ⑪その他2 () ⑫その他3 ()

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内 容	工夫した点					課 題					
①	⑧					⑧					専門研 小学校特支／中学校特支／特支教育①②
③	⑩					①	⑧				通級指導教室担当者研修
④	⑩					①	⑧				専門研 特別支援学校①②

・内容

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の専門研修
⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点からの授業づくり
⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1 ()
⑫その他2 () ⑬その他3 ()

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各3つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
	①	②	③

①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他 ()

研修実施の工夫	②	③	⑤
	②	③	⑤

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりやネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他 ()

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	④	⑤
	①	④	⑤

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他 ()

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課 題	①	⑦	⑧
	①	⑦	⑧

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の工夫 ⑪その他 ()

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
③	特別支援学級担任が研修に参加しやすくなるよう、半日開催や講義の動画配信、e-learningの導入等を検討する。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他 ()

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	②
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容					
--------	--	--	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（ ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	③
-------	---

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
33	島根県教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成	①	②	⑤	⑦	⑧	④	⑧	⑨		
教育相談や心理検査にかかる専門性向上										
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	④	⑥	⑩	③	⑨			
その他（ ）										

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
①	⑩					⑨				
②	①	②	④	⑦	⑩	⑥				
③	①	⑩				①				

・内容

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

(1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各3つ選択）

研修形態の工夫	①	②	⑦
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	④	⑤	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

(2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	②	④
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

(1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課 題	②	⑥	③
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

(2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
①	西日本の講師活用
④	計画的な自主研修機会の確保

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	②
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容				
--------	--	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（ ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	②
-------	---

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
34	岡山県総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成	①	②	④	⑤	⑧	①	⑨			
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	③				⑧	⑨			
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	⑤			①	④	⑦	⑧	⑨
その他（ ）										

- ・工夫した点
①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）
- ・課題
①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
③	①	②	⑨	⑩		①	⑧	⑨		
④	①	②	⑩			①	⑧	⑨		
⑨	①	②				①	⑧	⑨		

- ・内容
①通常学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の専門研修
⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点からの授業づくり
⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各3つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	②	⑤	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりやネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	③	⑦
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等に対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課 題	①	⑥	⑦
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
①	講座アンケートや学校支援での聞き取り等の情報収集
③	講義・実践発表・演習・協議等を組み合わせ、一貫性のある講座運営
④	研修会の実施、外部研修への参加

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	①
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容	④			
--------	---	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（ 研修の代替 ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	
-------	--

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
35	広島県立教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成										
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	③	⑩			②	④	⑧	⑨	
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	⑧	⑩		②	④	⑧	⑨	
その他（ ）										

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
①	①	②	⑩			②	④	⑧	⑨	
⑥	①	②	⑩			②	④	⑧	⑨	
⑨	①	②	⑩			②	④	⑧	⑨	

・内容

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各3つ選択）

研修形態の工夫	①	②	⑦
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	④	⑥	⑦
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	②	⑦
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課 題	①	⑤	⑥
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
①	実践報告者の育成
③	協議の時間の十分な確保
④	専門性・情報収集力の向上

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	②
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容				
--------	--	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（ ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	③
-------	---

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
36	やまぐち総合教育支援センター内 ふれあい教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成										
教育相談や心理検査にかかる専門性向上										
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	③			①	②	③		
その他（ ）										

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
①	①	⑨				③				
③	①	③	⑧			③				
⑥	①	③	④	⑩		④				

・内容

- ①通常学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各3つ選択）

研修形態の工夫	①	②	④
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	②	④	⑤
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	②	③	④
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課 題	①	④	⑥
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
②	山梨県特別支援教育推進室・聴覚障害教育センター・視覚障害教育センターとの連携

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	①
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容	④			
--------	---	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（各学校における校内研修会にて利用していただく ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	
-------	--

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
37	徳島県立総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成	①	③	④	⑤		①	⑨			
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	⑩				②	③	④		
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	③	⑤	⑧	①	⑦			
その他（ ）										

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率の運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
②	①	⑧				②	⑨			
③	①	③	④			②	⑤	⑨		

・内容

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各項目3つ選択）

研修形態の工夫	②	③	④
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	⑤	⑥
---------	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経過年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	②	③
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課 題	①	⑦	⑧
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
③	研修体系の整備や研修講座の改善

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	①
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容	④			
--------	---	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（ ）

職務研修の事前課題

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	
-------	--

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
38	香川県教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成	①	⑤	⑩			②	⑨			
教育相談や心理検査にかかる専門性向上										
特別支援学級担当者の指導力向上										
その他（ ）										

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
②	①	⑤	⑩			④				
⑤	②	④	⑩			②				
⑨	①									

・内容

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各3つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	⑥	④	⑤
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	③	⑤
------	---	---	---

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等に対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課 題	②	③	⑦
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
①	研修終了時のアンケート等をもとに、より受講者のニーズを反映した研修を企画、実施する。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	①
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容	①	②	④	
--------	---	---	---	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（自主研修教材として各自で活用）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	
-------	--

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機 関 名
39	愛媛県総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
(工夫、課題について選択 複数可 (5つまで) 未実施の内容については無記入)

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成	①	③	⑪			④				
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	⑪					①	⑨			
特別支援学級担当者の指導力向上	①	④	⑧			④				
その他 ()										

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1 (外部講師の活用)
⑫その他2 () ⑬その他3 ()

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
講師の確保 ⑩その他1 () ⑪その他2 () ⑫その他3 ()

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

(内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択 (複数可 5つまで))

内 容	工夫した点					課 題				
①	①					①	②			
③	①	③	⑪			①	②	⑨		
⑨	①	③	⑪			①	⑨			

・内容

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1 ()
⑫その他2 () ⑬その他3 ()

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

(1) 研修の効果的な在り方 (講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各3つ選択)

研修形態の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他 ()

研修実施の工夫	①	⑤	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携 (会場使用、参観等) ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他 ()

(2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援 (実施している支援方法のうち主なものを3つ選択)

支援方法	②	⑤	⑦
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他 ()

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

(1) 課題 (考えられる主なものを3つ選択)

課 題	②	③	⑥
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他 ()

(2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
①	アンケート等により、受講者のニーズ把握に努め、研修内容改善に生かす。
④	他機関等が実施する研修等に積極的に参加し、自己研さんに努める。

①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	②
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容				
--------	--	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（ ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	①
-------	---

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機 関 名
40	高知県教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成	①					⑩				
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	③	⑤	⑩		②	④	⑨		
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	⑤	⑨		②	⑥	⑦		
その他（ ）										

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
①	①	③	⑩			①	②	⑥		
②	①	②	⑤	⑨		②	⑪	⑫		
③	①	③	⑤			②	④	⑤	⑨	

・内容

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各項目3つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	④	⑤	⑦
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	③	④
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課 題	②	⑤	⑩
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
①	全校種に対応した研修テーマの設定
②	各教育事務所と連携し、研修の広報やオープン参加を可能とするなど、より多くの教職員が受講できるような対応を考える。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	②
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容				
--------	--	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（ ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	
-------	--

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
41	福岡県教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
	①	②	⑨	⑩		②	③	⑤		
特別支援教育コーディネーターの養成										
教育相談や心理検査にかかる専門性向上										
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	⑥	⑨	⑩	②	④			
その他（ ）										

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
	①	⑥	⑩			①	②	③	⑥	⑨
①	①	⑥	⑩			①	②	③	⑥	⑨
⑤	①	②	⑩			①	③	④	⑨	
⑨	①	②	⑥	⑩		①	③	④	⑤	⑨

・内容

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各項目3つ選択）

研修形態の工夫	①	②	④
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	②	③	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	②	⑦
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課 題	①	③	⑩
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
①	受講者のニーズ及び現在の動向からの研修内容見直し
③	受講者が課題意識をもって主体的に研修でき、研修内容を地域へ還元できるような工夫

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	①
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容	④			
--------	---	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（サポート・シリーズ校内研修）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	
-------	--

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
42	佐賀県教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内容	工夫した点					課題				
特別支援教育コーディネーターの養成										
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	③	⑥	⑩		①	②	⑤	⑩	
特別支援学級担当者の指導力向上	①	③	⑤	⑧		①	②	④	⑧	⑩
その他（ ）										

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内容	工夫した点					課題				
①	①	③	⑥	⑧	⑩	①	②	⑥	⑩	
⑤	①	③	⑥	⑧	⑩	①	②	④	⑥	⑩
⑨	①	⑧	⑩			①	②	⑥	⑩	

・内容

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各項目3つ選択）

研修形態の工夫	①	②	⑦
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	①	⑤	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	④	⑤
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課題	②	⑦	⑩
----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
①	限られた予算内での研修講座を実施するため、年度毎に障害種別の研修講座に予算的な軽重を付け、遠方から講師招聘を行う。
②	教育庁や教育事務所等の特別支援教育担当者間で、研修の在り方について定期的に会議を設ける。
③	主体的な参加を促すため、協議演習を取り入れた研修講座の設定を行う。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	②
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容				
--------	--	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（ ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	②
-------	---

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
43	長崎県教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題			
	①	②	⑩			②	④	⑦	⑧
特別支援教育コーディネーターの養成									
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	⑪				②	④	⑧	
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	⑤	⑫		③	④	⑦	⑧
その他（ ）									

- ・工夫した点
①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（メンターの活用）
⑫その他2（指導教諭の活用） ⑬その他3（ ）
- ・課題
①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内 容	工夫した点					課 題			
	①	②	⑥	⑩	⑪	②	③		
⑪									

- ・内容
①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の専門研修
⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点からの授業づくり
⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（自立活動に関する研修講座）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各3つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	①	⑤	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりやネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	②	④	⑤
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課 題	①	⑥	⑧
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
②	長崎大学や本庁との連携・協働

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	②
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容				
--------	--	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（ ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	③
-------	---

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
44	熊本県立教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内容	工夫した点					課題		
特別支援教育コーディネーターの養成								
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	③				①		
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	④	⑧	⑩	②	⑦	
その他（ ）								

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1 出前研修の実施
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内容	工夫した点					課題		
①	⑪							
②	①	②	⑧					
④	①	②						

・内容

- ①通常学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の専門研修
⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点からの授業づくり
⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各3つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	④	⑤	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりやネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	②	⑤
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課題	①	②	③
----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
①	現在行っている研修内容や日程を見直し、研修者のニーズや喫緊の課題に応じた研修に再構築する
③	集合研修だけでなく、オンライン研修やサテライト型研修、複数の研修のパッケージ化の導入

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	①
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容	①	②	④	
--------	---	---	---	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（ 任意 ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	
-------	--

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機 関 名
45	大分県教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点				課 題			
	④	⑤	⑧	⑪	②	④	⑦	⑧
特別支援教育コーディネーターの養成	④	⑤	⑧	⑪	②	④	⑦	⑧
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	⑥	⑪			⑩			
特別支援学級担当者の指導力向上	②	③	⑤	⑦	⑦			
その他（ ）								

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（外部講師（大学教授等）招聘）
⑫その他2（出前研修を実施） ⑬その他3（ ）

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（著作権の保護） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内 容	工夫した点				課 題			
	①	②	⑪	⑫	①	⑥		
①	①	②	⑪	⑫	①	⑥		
③	①	③	⑤		①	②		
⑤	①	⑧	⑪		①	②	⑥	

・内容

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各3つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	④	⑤	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	②	⑦
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等に対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課 題	①	③	⑦
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
①	受講者の学校種、経験等を踏まえた内容の構築。研修中の受講者とのやりとりや研修 評価シートを通して、受講者の悩みやニーズを把握し、研修内容構築に反映させる。
②	市町村教育委員会指導主事の専門性向上に寄与するため、研修の参加についての柔軟 な対応（急な参加希望に対応等）。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	①
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容	④			
--------	---	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（事前聴講により基礎的知識習得）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	
-------	--

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
46	宮崎県教育研修センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成	①	③	⑤	⑥	⑩	①	②	③	⑧	⑨
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	③	⑨	⑩		①	②	③	⑧	⑩
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	④	⑤	⑩	①	②	③	⑧	⑪
その他（ ）										

- ・工夫した点
①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）
- ・課題
①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
①	①	③	⑨			①	②	③	⑧	⑦
③	①	②	③	⑤	⑨	①	②	③	⑪	⑨
⑦	①	③	⑨	⑩		①	③	⑤	⑧	⑦

- ・内容
①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各項目3つ選択）

研修形態の工夫	②	③	⑦
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	②	⑤	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	③	⑤
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課 題	④	⑥	⑧
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
①	・単発の研修ではなく、長期的な研修プログラムとして研修講座を組み立てる。
②	・管理職への特別支援教育に関して、市町村教育委員会や教育事務所との連携を図る。
③	・動画コンテンツなど具体例を充実させる。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	②
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容				
--------	--	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（ ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	③
-------	---

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
47	鹿児島県総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題			
	①	⑥	⑩			②			
特別支援教育コーディネーターの養成	①	⑥	⑩			②			
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	⑥				⑤			
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	④	⑤	⑥	⑥	⑧		
その他（ ）									

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内 容	工夫した点					課 題			
	①	④	⑥			⑥			
①	①	④	⑥			⑥			

・内容

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各3つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	⑤	⑥	⑦
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	④	⑦
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課 題	①	③	⑦
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
③	学校現場への研修効果の還元のための研修方法の工夫（センター招集型から出前型へ）

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	②
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容				
--------	--	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（ ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	②
-------	---

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
48	沖縄県立総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
	①	③	⑤			②	③	⑦	⑧	⑨
特別支援教育コーディネーターの養成	①	③	⑤			②	③	⑦	⑧	⑨
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	③				①	⑧	⑨		
特別支援学級担当者の指導力向上	①	⑤	⑪			①	②	④	⑦	⑧
その他（ ）										

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（疑似体験）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
	①	③	⑥	⑪		①	②	⑧		
①	①	③	⑥	⑪		①	②	⑧		
⑨	②	⑥	⑩	⑪		①	②	⑧		
⑪	①	②	⑥	⑧	⑪	②	③	⑥	⑧	

・内容

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他（各種障害に応じた講座）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各3つ選択）

研修形態の工夫	②	③	④
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	①	⑤	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	②	④	⑦
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等に対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課 題	②	③	⑧
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
①	大学教授等の専門家の活用
②	発達障害者支援センターや福祉機関等の活用

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	②
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容				
--------	--	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（ ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	③
-------	---

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
49	千葉市養護教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題			
	①	②	③	⑤	⑥	②	⑧		
特別支援教育コーディネーターの養成	①	②	③	⑤	⑥	②	⑧		
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	③	⑥				①			
特別支援学級担当者の指導力向上	②	⑤	⑥	⑧		②	④		
その他（ ）									

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内 容	工夫した点				課 題			
	①	④	⑧	⑩	①	⑨		
①	①	④	⑧	⑩	①	⑨		
⑥	①	④	⑧	⑩	①	⑨		
⑨	①	④	⑧	⑩	①	⑨		

・内容

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各3つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	⑤	⑥	⑦
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	③	⑤
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等に対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課 題	②	④	⑧
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
①	受講者の意見の吸い上げ・ニーズの把握
②	放課後等デイサービス等民間及び他の行政機関との連携

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	②
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容				
--------	--	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（ ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	③
-------	---

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
50	川崎市総合教育センター 特別支援教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
	①	⑤	⑥			①	⑩	⑪		
特別支援教育コーディネーターの養成										
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	⑤					⑦				
特別支援学級担当者の指導力向上	⑤	⑥	⑦	②	③	①	⑩	⑦		
その他（ ）										

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（研修内容の精選） ⑪その他2（研修日程の調整） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
	③	④	⑤	⑥		①	⑦	⑩	⑪	
③	③	⑤	⑥			①	⑦			
④	②	⑤	⑥			⑩	⑪			
⑨	⑥					⑦	⑩			

・内容

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各項目3つ選択）

研修形態の工夫	④	③	①
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	②	⑤	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	③	⑤
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課 題	⑦	⑧	⑥
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
②	特別支援学校の夏季公開研修等、他機関の研修との内容の調整・協力。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	②
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容				
--------	--	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（ ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	②
-------	---

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
51	横浜市特別支援教育総合センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
	①	⑤	⑩			①	④	⑥		
特別支援教育コーディネーターの養成										
教育相談や心理検査にかかる専門性向上										
特別支援学級担当者の指導力向上										
その他（ ）										

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（チーフコーディネーターの指名）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
	①	②	⑤			②	⑥			
②										
③										
④										

・内容

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の専門研修
⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点からの授業づくり
⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各項目3つ選択）

研修形態の工夫	②	③	⑥
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	①	④	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりやネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	②	③
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等に対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課 題	②	③	⑩
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
③	講義内容のビデオ配信、eラーニングの導入

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	②
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容				
--------	--	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（ ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	①
-------	---

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
52	名古屋市教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内容	工夫した点					課題				
特別支援教育コーディネーターの養成	①					②				
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①					④				
特別支援学級担当者の指導力向上	⑤					②	⑥	⑨		
その他（ ）										

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内容	工夫した点					課題				
①	⑩					②	⑤	⑥		

・内容

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の専門研修
⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点からの授業づくり
⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各項目3つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	②	⑤	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりやネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	②	④
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等に対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課題	①	②	⑤
----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
①	ニーズに応じた研修の実施

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	②
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容				
--------	--	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（ ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	②
-------	---

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
53	京都市総合教育センター (総合育成支援課)

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
(工夫、課題について選択 複数可 (5つまで) 未実施の内容については無記入)

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題			
	①	③	⑦			②	④		
特別支援教育コーディネーターの養成									
教育相談や心理検査にかかる専門性向上									
特別支援学級担当者の指導力向上									
その他 ()									

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1 ()
⑫その他2 () ⑬その他3 ()

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
講師の確保 ⑩その他1 () ⑪その他2 () ⑫その他3 ()

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

(内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択 (複数可 5つまで))

内 容	工夫した点					課 題			
	①	②	③	⑤	⑦	④			
③									
⑥									
⑪									

・内容

- ①通常学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1 (特別支援教育支援員の研修)
⑫その他2 () ⑬その他3 ()

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方 (講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各項目3つ選択)

研修形態の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他 ()

研修実施の工夫	①	⑥	⑦
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携 (会場使用、参観等) ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他 ()

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援 (実施している支援方法のうち主なものを3つ選択)

支援方法	①	③	⑦
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他 ()

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題 (考えられる主なものを3つ選択)

課 題	①	⑧	⑩
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他 ()

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入 (最大3つ)

研究の内容	具体的な内容
①	研修の受講や実践経験を経て、一定の力量や知識を身に付けた教員がさらに指導力・ 専門性を向上させるための研修を充実させていく。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他 ()

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	①
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容	④			
--------	---	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（ 研修動画をイントラネットで共有 ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	
-------	--

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
54	大阪市教育委員会事務局指導部 インクルーシブ教育推進室

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
	①	④	⑥	⑦	⑨	①	②	⑧	⑨	⑩
特別支援教育コーディネーターの養成	①	④				①	②	⑧	⑨	⑩
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	③				①	⑨			
特別支援学級担当者の指導力向上	①	③				④				
その他（ ）										

- ・工夫した点
①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）
- ・課題
①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（指導技術の継承） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
	①	④	⑥	⑦	⑨	①	②	⑧	⑨	⑩
①	①					①	②	⑧	⑨	⑩
⑥	①	④				①	③	⑧	⑨	⑩

- ・内容
①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各項目3つ選択）

研修形態の工夫	①	②	⑤
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	③	⑤	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	②	③
------	---	---	---

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課 題	①	④	⑤
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
①	発達障がいについて、実態把握・指導・自立と社会参加に関する専門性の高い有識者（大学教授等）による連続講座を継続していく。
③	上記の講座を受講した教員が、各地域の特別支援教育推進のリーダーとして相談支援、事例報告等を行い、本市特別支援教育を一層推進していく。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	②
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容				
--------	--	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（ ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	③
-------	---

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機 関 名
55	広島市教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題					
特別支援教育コーディネーターの養成	①	③	⑤	⑧	⑪	②	⑧				
教育相談や心理検査にかかる専門性向上											
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	⑪			①	⑨				
その他（ ）											

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1 実践交流・協議
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内 容	工夫した点					課 題					
②	①	②	⑪			⑥	⑨				
③	①	⑪				④					
⑥	①	⑩				①					

・内容

- ①通常学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各項目3つ選択）

研修形態の工夫	②	③	⑤
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	②	⑥	⑦
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	③	⑤
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等に対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課 題	②	④	⑨
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
①	経験年数や力量に対応するため、研修講師との事前打合せの際に受講者の状況を伝える等、ニーズに応じた研修内容になるよう努めたい。
②	広島市発達障害者支援センターと共催での研修を実施している。今後も連携を図り、講師派遣の依頼や、研修内容の充実に努めたい。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	②
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容				
--------	--	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（ ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	③
-------	---

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機 関 名
56	北九州市特別支援教育相談センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）
※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成										
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	⑤				①	⑧			
特別支援学級担当者の指導力向上										
その他（ ）										

- 工夫した点
 - ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
 - ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
 - ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
 - ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）
- 課題
 - ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
 - ④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
 - ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内 容	工夫した点					課 題				

- 内容
 - ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
 - ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の専門研修
 - ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
 - ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各3つ選択）
- | | | | |
|---------|---|---|---|
| 研修形態の工夫 | ② | ④ | ⑤ |
|---------|---|---|---|
- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

- | | | | |
|---------|---|---|---|
| 研修実施の工夫 | ③ | ④ | ⑤ |
|---------|---|---|---|
- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりやネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫 ⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

- | | | |
|------|---|---|
| 支援方法 | ① | ④ |
|------|---|---|
- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）
- | | | | |
|-----|---|---|---|
| 課 題 | ② | ⑥ | ⑩ |
|-----|---|---|---|
- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん ⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	①
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容	①	④		
--------	---	---	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（ 相談員の研修の際の視聴 ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	
-------	--

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
57	福岡市発達教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成	②	⑥	⑦	⑨		①	②			
教育相談や心理検査にかかる専門性向上										
特別支援学級担当者の指導力向上	⑤	⑩				①	⑧			
その他（ ）										

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
①	①	⑩				③	⑧			
②	⑤	⑩				①	⑧			
⑥	⑦	⑩				①	⑧			

・内容

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各3つ選択）

研修形態の工夫	①	②	④
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	②	③	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	②	③
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課 題	②	⑤	⑥
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
①	研修担当課と受講者のニーズを踏まえた研修内容及び講師選定が考えられる。

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	②
-------	---

①実施している

②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容				
--------	--	--	--	--

①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ

②教職員支援機構のコンテンツ

③大学のコンテンツ

④センター独自に作成したコンテンツ

⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（ ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	②
-------	---

①計画がある

②計画がない

③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
58	静岡市特別支援教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成	①	④	⑤	⑨		②	⑥	⑧		
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	②	⑩			②	③			
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	④			②	⑤			
その他（ ）										

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
①	①	③				②	④	⑨		
②	①	②	⑤			④	⑨			
③	①	②	④	⑩		②	④	⑨		

・内容

- ①通常学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各項目3つ選択）

研修形態の工夫	①	②	⑥
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	③	⑤	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	⑥	⑦
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課 題	①	⑤	⑨
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
①	特別支援学級担当者の育成が喫緊の課題、経験年数に応じた研修内容の工夫

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	②
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容				
--------	--	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（ ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	③
-------	---

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
59	浜松市教育相談支援センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内容	工夫した点				課題			
特別支援教育コーディネーターの養成	①	②	⑤		①	②	③	④
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	⑦	⑨	⑩		①	②	③	④
特別支援学級担当者の指導力向上	⑤	⑩			①	②	③	④
その他（ ）								

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内容	工夫した点				課題			
②	①	②			①	②	③	④
③	③	⑩			①	②	③	④
⑥	①	②	③	④	④			

・内容

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各3つ選択）

研修形態の工夫	②	③	⑦
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	①	③	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	③	④
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課題	①	⑤	⑧
----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
①	より実践的な内容について、経験豊富な退職教員等を活用した研修
③	巡回相談形式でOJT的な指導が受けられる研修

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	②
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容				
--------	--	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（ ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	②
-------	---

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
60	新潟市立総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成										
教育相談や心理検査にかかる専門性向上										
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	③	⑩		②	④	⑦		
その他（ ）										

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
③	③					③				
⑤	①					①	②	④		
⑨	①					⑤				

・内容

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の専門研修
⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点からの授業づくり
⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各項目3つ選択）

研修形態の工夫	②	③	④
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	①	③	⑦
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりやネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	②	③
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課 題	②	⑤	⑩
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
②	特別支援教育にかかわる市教委の各部署との一層の連携と役割分担を進めること。
④	特別支援教育にかかわる研修講座の内容の検討と共有化

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	②
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容				
--------	--	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（ ）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	②
-------	---

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい

第43回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（山梨県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
61	相模原市教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（5つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成	①	③	④	⑤	⑨	③	④	⑥	⑧	⑨
教育相談や心理検査にかかる専門性向上										
特別支援学級担当者の指導力向上	②	④	⑤	⑥	⑨	①	③	⑥	⑧	⑨
その他（ ）										

・工夫した点

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

・課題

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 5つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
①	①	③	④			③	⑦	⑨		
②	①	②	③	⑨		①	⑥	⑨		
③	①	②	③	⑤		①	⑤	⑨		

・内容

- ①通常学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各3つ選択）

研修形態の工夫	①	③	④
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	①	④	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを3つ選択）

支援方法	①	⑤	⑥
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等に対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを3つ選択）

課 題	①	⑤	⑥
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大3つ）

研究の内容	具体的な内容
②	県内各教育センターとの連携により、他の教育センターの研修を受講可能にする（一部実施）
③	インターネットを活用した研修の実施（一斉配信など）

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した研修について

(1) インターネットを活用した研修の実施について

実施の有無	①
-------	---

- ①実施している
- ②実施していない

(2) (1)①の場合、具体的な内容（複数回答可）

具体的な内容	①			
--------	---	--	--	--

- ①国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ
- ②教職員支援機構のコンテンツ
- ③大学のコンテンツ
- ④センター独自に作成したコンテンツ
- ⑤その他（ ）

(3) (1)①の場合、活用の仕方（報告書を提出することで研修1講座受講扱いとする）

(4) (1)②の場合、今後の計画

今後の計画	
-------	--

- ①計画がある
- ②計画がない
- ③検討してみたい